



## ボンクリ・フェス2017 “Born Creative” Festival 2017

### 私たちの内なる創造性を失わないために

「ボンクリ」とは、「ボーン・クリエイティヴ」の略。「人間は皆、生まれつきクリエイティヴである」ということを標榜する、新しい音楽祭が開催される。

#### 私たちの音楽としての現代音楽はどこに

たとえば、いわゆる現代音楽を「私たちの音楽」「私たちのための音楽」だと思うかどうか。それは、同時代の音楽であると呼ばれながらも、同時代の多くの人々にとって身近にあり、親しまれる音楽とはなりえていないこともたしかだ。なぜだろう。

考えてみると、私たちの音楽教育の中で、そのような現代音楽にふれることはほとんどない。高校までの音楽の授業で、もしかしたらジョン・ケージくらいは話に出てくるかもしれない、という程度ではないだろうか。美術の教科書には、20世紀以降の近現代美術の作品が説明されていて、さらに最近では最新のメディア・アート作品までが紹介されているのにくらべるとちょっとさびしい感じもする。子供たちにうけそうな流行のポップスを教科書に載せ、現代音楽は複雑で難解なものであるとして、それと出会う機会からも遠ざけられてしまっているというのが現状なのではないか。

#### 子供は「新しい音楽」や「変な音」が好き

作曲家藤倉大は、数年前より福島県相馬市で、5歳から高校生までを対象にした作曲教室を開講している。それを通じて、「全ての人間は子供の頃、「新しい音楽」「新しい音」、そして5歳の子供の言葉を借りると「変な音」が好きだった」ということがわかったという。しかし、そうした生まれつき持っていたはずの創造性は成長するにつれて失われてしまう。それはなにによってなのか。現在の日本の音楽教育の中では、想像力や創造性というものが、むしろ学習

によって枠にはめられてしまい、足枷になってしまっている、という捉え方もあるだろう。そこで、教育音楽に馴致させられてしまう前の、私たちが持っているという音楽的感性の可能性をいかにして呼び覚ますのか。

子供の頃に持っていたはずの自由な発想、軽く日常を逸脱する想像力、訳の判らないものに対する好奇心などに対して、あのころはよかった、となつかしむことがあるだろう。しかし、自由や逸脱を可能にするのもやはり知識であり、ある種のディシプリンである、ということもまた正しいことだ。

#### 私たちの内なる創造性を触発するプログラム

藤倉がアーティストック・ディレクターを務める『ボンクリ・フェス2017』は、藤倉のいう「大人になっても5歳の子供のままクリエイティヴでいる人達」の作品を集めた、新しい音楽に触れるためのイベントだ。0歳の子供から大人までが楽しめる無料アトリウム・コンサートや「リュック・フェラーリの部屋」、「ポーリン・オリヴェロスの部屋」「ペルー音楽の部屋」といったワークショップ・コンサート、さらには、即興音楽、電子音楽、日本の伝統音楽である雅楽までを取り上げるスペシャル・コンサートでは、デヴィッド・シルヴィアンと藤倉との共作曲、坂本龍一や大友良英の新作、アンサンブル・ノマドが演奏する、坂本龍一の<thatness and thereness>(藤倉による編曲)、武満徹の《秋庭歌一具》より第4曲<秋庭歌>などが演奏される。

こうしたクリエイティヴな音楽こそが、さらに私たちの内なる創造性を触発し、音楽をアップデートすることを可能にするだろう。

文：畠中実(NTTインターコミュニケーションセンター [ICC] 主任学芸員)

ボンクリ・フェス2017 “Born Creative” Festival 2017 5月4日(木・祝) アーティストック・ディレクター：藤倉大 詳細はHPへ  
スペシャル・コンサート 17:30開演 コンサートホール

- デヴィッド・シルヴィアン&藤倉大／Five Lines(ライブ版世界初演)、The Last Days of December(ライブ版世界初演)
- 坂本龍一／3つのトライアングルのための作品(ライブ版世界初演) ■武満徹／「秋庭歌一具」より 第4曲「秋庭歌」
- 「秋庭歌」ライブ・リミックス ■ブルーノ・マデルナ／ひとつの衛星のためのセレナータ ■大友良英／新作(世界初演)
- 坂本龍一(藤倉大編曲)／thatness and thereness(アンサンブル版世界初演) ■藤倉大／フルート協奏曲(アンサンブル版日本初演)

出演 アンサンブル・ノマド(指揮：佐藤紀雄)／伶楽舎／クリア・チェイス(フルート)／ヤン・バング(エレクトロニクス)／ニルス・ペッター・モルヴェル(トランペット)／小林沙羅(ソプラノ)／大友良英(ターナーテーブル)／藤倉大(エレクトロニクス)  
サウンドデザイン：永見竜生[Nagie]

スクリームの部屋：未就学児とその同伴者対象に、スペシャル・コンサートの同時中継をおこないます。(料金500円・事前申込制)

#### デタイム・プログラム 11:00~17:00

赤ちゃんからシニアまで楽しめる無料アトリウム・コンサートや、ワークショップ・コンサート(スペシャル・コンサートまたはスクリームの部屋のチケット購入者を対象)などを、館内各所でおこないます。

### 芸劇ランチ・コンサート ~清水和音の名曲ラウンジ~

4月26日(水)・6月28日(水)・8月30日(水) 各回11:00開演 コンサートホール

詳細はP10、14へ



清水和音

八塩圭子

#### 芸劇ランチ・コンサート~清水和音の名曲ラウンジ~

ピアニスト・清水和音とアナウンサー・八塩圭子が進行役を務め、昨年4月より毎偶数月に開催している人気公演!! 朝11時から約1時間、内容を凝縮した楽しく本格的なコンサートだ。N響の首席奏者や日本音楽コンクール優勝者など、日本トップレベルの演奏者8名のメンバーによる「アンサンブル・サンセリテ」の上質な演奏で、耳馴染みのある曲を中心にお届けする。また毎回「和音・今月の一曲」として、清水和音によるピアノ独奏曲も演奏。4月はヴィオラが主役、6月はパッハの名曲を、そして8月には清水和音のソロでピアノ小品集という内容だ。

演奏：アンサンブル・サンセリテ(ピアノ：清水和音 ほか) ナビゲーター：八塩圭子  
4月26日(水)：第7回「ヴィオラに恋して」／6月28日(水)：第8回「パッハに心酔」／8月30日(水)：第9回「清水和音 リサイタル」  
【お問合せ】サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

### ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団

6月11日(日) 14:00開演 コンサートホール

詳細はP13へ



ステファヌ・ドゥネーヴ

モナ=飛鳥・オット

#### ヨーロッパで最注目の名門オーケストラ、初来日!

創設以来、様々な現代作品の初演を果たし、ヨーロッパ各地で大成功を収め、2016年にドイツ・グラモフォンのCDが仏・ディアパソン誌で年間大賞を受賞したベルギーの名門ブリュッセル・フィルが初の来日を果たす。今回は、NHK交響楽団やミュンヘン・フィル、フィラデルフィア管弦楽団への客演など、その妥協なき音楽作りが世界各地で絶賛を博す新音楽監督ステファヌ・ドゥネーヴが参加。活躍著しいドイツ期待の新星、ピアニスト・モナ=飛鳥・オットとの「皇帝」や名曲「英雄交響曲」など、ベートーヴェンを中心とした豪華プログラムは、クラシック・ファンならずとも必聴!

指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ ピアノ：モナ=飛鳥・オット 管弦楽：ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団  
【お問合せ】テンポプリモ 03-5810-7772

### ブルボン Presents めざましクラシックス サマーフェスティバル 2017

7月27日(木)~30日(日) コンサートホール

詳細はHPへ



軽部真一

高嶋ちさ子

#### 豪華ゲストを迎えて贈る20周年記念公演

ヴァイオリニスト高嶋ちさ子と、フジテレビアナウンサー軽部真一がプロデュースする人気公演「めざましクラシックス」。1997年に始まった本シリーズは、メインキャストの二人が繰り広げる爆笑トーク、ジャンルレスな選曲と一流の演奏家達が織り成す美しいハーモニー、そして豪華ゲストとのコラボレーションを軸に全国各地にクラシックの魅力をお届けしてきました。今年1月には通算公演数が300回を突破。20周年となる今回は豪華スペシャルゲストを迎え、4日間5公演という壮大な規模で夏を鮮やかに彩ります。

出演：高嶋ちさ子(Vn)、軽部真一(フジテレビアナウンサー)、松本蘭(Vn・29日昼のみ)  
ゲスト：27日/徳永二男(Vn)、三浦文彰(Vn) 29日昼/山崎育三郎、高嶋ちさ子(Vn) 30日/藤井フミヤ、押尾コータロー ほか  
28日/小田和正、沖仁 ほか 29日夜/岸谷香、三浦文彰(Vn) ほか  
【お問合せ】キョードー東京 0570-550-799

### N響JAZZ at 芸劇

8月19日(土) 17:00開演 コンサートホール

詳細はHPへ



ジョン・アクセルロッド

塩谷哲

#### 夏の夜に愉しむ、シンフォニックジャズ!

東京芸術劇場とNHK交響楽団との新しい取り組みとして始まり、毎回好評を得ているこのシリーズ。テーマは“シンフォニックジャズ”。ジャズの影響を受けた管弦楽曲のことで、クラシック音楽のジャンルの一つとして注目を浴びている。バーンスタインにも師事した指揮者ジョン・アクセルロッドのもと、3回目の開催となる2017年は、バーンスタインの名曲<シンフォニック・ダンス>のほか、ソリストにジャズのほかポップスからクラシックまで幅広く活躍するピアニスト塩谷哲を迎え、ショスタコーヴィチのジャズ組曲第1番などを取り上げる。真夏の夜、上質なN響サウンドで贈るシンフォニックジャズを是非ご堪能いただきたい。

指揮：ジョン・アクセルロッド ピアノ：塩谷哲 管弦楽：NHK交響楽団